

北海道自家用新聞

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 辻 澤 英 隆
札幌市東区北三ノ条一丁目(郵便番号 060-0000)
電話 (011) 721-1457

過去5年「生活道路」で3.4万人死傷 法定速度引き下げ周知へ

警察庁

地域住民が利用する幅5・5メートル未満の「生活道路」で2021〜25年に起きた交通事故で、計約3万4000人が死亡したり重傷を負ったりしていたことが9月10日、警察庁のまとめで分かった。高齢者や子供は、歩行中や自転車乗車中の被害が多かった。

生活道路は幅5・5メートル以上の道路と比べて歩行者と自転車事故に遭う割合が約2倍で、高齢者の3分の2、小学生の95%が歩行中か自転車乗車中だった。同庁は「『生活道路』は人が優先」を徹底してほしいとしている。

生活道路の法定速度は9月1日から時速30キロに引き下げられたが、周知が課題となっている。同庁は9月21日から30日までの「秋の全国交通安全運動」で広報啓発に取り組んだ。

同庁は、23年から努力義務となっている自転車ヘルメットの着用率の調査結果も公表。6月の平日に全国の駅前などで計約5万人を調べたところ、平均着用率は24・4%で、昨年同期より3・2%向上した。

同庁が全国の生活道路で過去5年間に起きた交通事故を集計したところ、3万3332件の重大事故があり、死者は2149人、重傷者は3万2113人に上った。

都道府県別では福井、愛媛、大分が60%を超え、中でも福井は昨年比約35%の大幅増。全国的に改善しており、10%以下だったのは滋賀と大阪の2府県だった。

違反歴ある高齢ドライバーの「運転技能検査」を厳格化

警察庁

警察庁は、違反歴がある75歳以上のドライバーに義務付けている「運転技能検査」を、厳格化する方針を示した。高齢ドライバーのアクセル・ブレーキの踏み間違い事故が多い現状を踏まえ、検査の課題に「方向転換」を追加する。また、「一時不停止」についても、減点基準を大幅に引き上げる。検査内容を厳しくすることで、高齢者の交通事故の防止につなげる考えだ。

免許更新時に課せられる運転技能検査は2022年から施行されている。75歳以上の高齢者で、免許更新前の一定期間、信号無視や踏切不停止などの違反行為を行った者が検査の義務を負う。

警察庁が実施した追加調査によると、検査合格者の交通事故件数が、検査対象外の同世代の事故件数と比べて2倍以上となっており、検査のさらなる厳格化が必要な状況である

「北海道運輸局安全プラン2030」を策定 事業用自動車の事故削減へ

北海道運輸局(石塚智之局長)

は、トラックやバスなど事業用自動車の事故削減に向け「北海道運輸局安全プラン2030」を策定した。2、小学生の95%が歩行中か自転車乗車中だった。同庁は「『生活道路』は人が優先」を徹底してほしいとしている。

運行管理などに取り組む。「長距離・過疎地域運行における疲労・健康起因事故対策」では、自動点呼などを活用した運転者の健康状態を踏まえた点呼や健康診断後のフォローアップなどを行う。「観光需要増大期における旅客輸送の安全確保」では、観光シーズンにおける監査や車内事故防止対策の強化のほか、繁忙時期に対応した安全管理や、運転者教育の徹底なども図る。「貨物軽自動車運送事業者の急増に伴う安全管理の底上げ」では、貨物軽自動車運送事業に対する新たな安全規制の周知徹底や安全管理者の講習受講と選任、適性診断受診の徹底などを推進する。

<各業態の個別目標>

業態	主な措置	北海道	(参考)全国
バス	車内事故件数	11件以下	85件以下(3.23件/億km以下)
貸切バス	乗客の負傷事故件数	ゼロ	20件以下(2.16件/億km以下)
タクシー	出会い頭衝突事故件数	41件以下	950件以下(17.21件/億km以下)
トラック(軽除く)	追突事故件数	55件以下	2,380件以下(4.12件/億km以下)
軽貨物	追突事故件数	25件以下	970件以下(16.52件/億km以下)

出典:北海道運輸局安全プラン2030(<https://www.ttb.mlit.go.jp/hokkaido/content/000380015.pdf>)から一部抜粋して作成

北海道の事故削減目標

指標	北海道	(参考)全国
24時間死者数	6人以下	225人以下(0.31人/億km以下)
重傷者数	95人以下	1,740人以下(2.39人/億km以下)
人身事故件数	590件以下	16,500件以下(22.68件/億km以下)
飲酒運転	ゼロ	ゼロ

北海道独自の事故削減目標も設定した。全体目標では、24時間死者数は6人

ながら・居眠り運転、検知義務化へ 2031年新型車に適用、国交省方針

国土交通省は国産車と輸入車を対象として、ドライバーのスマートフォンを操作しながらの脇見運転や居眠り運転を検知し警告する「ドライバーマモニタリングシステム(DMS)」の搭載を義務化する方針を固めた。9月に省令を改正し、2031年から新型車に適用し、33年には既存モデルの継続生産車にも搭載を義務付ける。

欧州では既に販売車への搭載が義務化された。国内メーカーも実用化しており、国交省は「一層の普及を目指す考え」。

国交省によると、DMSは、車内カメラなどでドライバーの視線やまぶた、ハンドルの動きなどを検知し、異常があれば警報音やハンドルの振動で知らせるシステム。義務化の要件として、脇見運転の場合、時速20〜50キロで6秒間、時速50キロ以上で3・5秒間、前方から視線をそらすと作動し、居眠り運転は時速70〜130キロの一定の水準で検知すると定める。

DMSの国際基準が3月、日本も参画する国連の自動車基準調和世



「ながら運転」による重大事故が増加傾向にある(イメージ)

北海道交通安全推進委員会からのお知らせ

～夜光反射材等を身につけましょう～

これからの季節は、夕暮れが早くなり、ドライバーからは歩行者が見えにくくなりますので、普段から「ここにいるよ」の合図として、外出時は明るい服装を心がけるとともに、反射材用品(リフレクター)やLEDライト等を身につけるなど目立つ工夫をして、交通事故に遭わないようにしましょう。



▽お問い合わせ

北海道交通安全推進委員会
電話(011) 221-6666
<https://www.slowly.or.jp>

交通空白地域は家族送迎という負担増

支援団体が自動車業界に協力呼び掛け

この団体は日本カーシエリング協会（宮城県石巻市）。東日本大震災をきっかけに活動を始めた。「日本」と名乗りながら石巻市に本

吉澤さんは、団体活動の傍ら、日本自動車販売協会連合会や日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車連盟などの団体支部、自動車関連企業などに車両の提供や活動資金の寄付を依頼してまわる。「街のクルマ屋さんで下取りした車や、代車として使っている車を一台でも寄付してくれば、車をなくして困っている

北海道経産局の担当者が中小企業者、油外収益確保等取組支援事業の活用ポイントについて紹介した。

ワークショップでは参加者が4班に分かれ、Sの油外収益事業を支援する補助金を申請するためのビジネスコンセプトを議論した。1班ずつアイデアを発表し、金融機関の担当者からアドバイスを受けた。

**G×戦略地域の第1弾を認定
北海道では石狩市と苫小牧市**

経産省

経済産業省は9月11日、「GX（グリーン）戦略地域の第1弾を認定した」と発表した。4月24日に選定した38の「有望地域」から計18地域を選ぶ。今回認定されなかった有望地域についても計画の具体性を高めるなど、どの伴走支援を続け、2026年度内をめどに第2弾を認定する予定。

経産省は、コンビナートや地域に偏在する脱炭素電源などを核とした新たな「産業クラスター」の創出に向け、25年8月に「GX戦略地域制度」を創設。①コンビナート等再生型②データセンター集積型③脱炭素電源活用型、の3類型で地域を選定し、GX経済移行債などによる支援と規制・制度改革を行うとしている。有識者による審査委員会を経て、①は川崎市の1地域、②は北海道（石狩市、苫小牧市）などの9地域、③は秋田県（秋田市）など10地域が第1弾に選ばれた。

東京都品川区東品川4丁目8番12号
〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

訴訟対応への協力体制で事故解決へ



介護制度のご案内

交通事故により重度の後遺障害（脳損・脊損）を負い介護を要する方へ、国の資金により介護料を支給致します。

- ☆ 対象者
- 自動車(バイク含む)事故により、脳、脊髄、または胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方で一定の要件に該当する方(自損・他損は問いません)
- ☆ 支給額
- 月額 36,500円～211,530円の範囲で、障害の程度等に応じて支給
- ☆ 注 意
- 介護保険サービス、労災の介護給付等との併用はできません

《 詳しくは 》

独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスパ」で検索
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

釧路



釧路モーターフェスティバル2026を開催

6000人が来場

釧路自動車販売店協会と釧路軽自動車協会、釧路地方自動車整備振興会などは、北海道釧路市内で「釧路モーターフェスティバル2026」を開催した。今回は新たに、地域を代表するイベントである「第23回釧路大漁どんぼく」の会場内で実施し、約6000人が来場した。

会場では乗用車と大型車の約50台に加え、警察や自衛隊などの働く車の展示を行った。各社は新型車のほかに、歩行領域のマイクロモビリティやアウトドア仕様の車両なども用意して乗り物の魅力を幅広く発信した。

体験型コンテンツは子どもたちが来てもらいながら業界への興味喚起

小型の建設機械を利用したスパーボールすくいの様子

を図ることを目的に2025年にスタートした。昨年は釧路協と釧路軽協が釧路市内の商業施設で実施したが、今年は会場を切り替えて集客の強化につなげ、体験型コンテンツを充実させた。関係者は「子どもたちの自動車に対する高い熱量が印象的だった」と手ごたえをつかんでいた。



釧路市内の高校にヘルメットを寄贈

サイクルセーフティラリー946実行委事務局

サイクルセーフティラリー946（くしろ）実行委員会事務局は、2026年の「サイクルセーフティラリー946」の取り組みとして、釧路市内の高校にヘルメットを贈呈した。寄贈式が釧路工業高校で行われ、釧路警察署や事務局を運営する釧路自動車協会の関係者らが出席したII写真。



同ラリーは自転車の事故防止を目的に2013年にスタート。自転車利用者に交通法令を意識づけるための運動を行ってきたが、自転車利用者が交通事故に遭遇した場合、頭部のダメージが致命傷につながる割合が高いことから、26年度からはヘルメットの普及に重点を置く活動に方向を転換した。

今回は市内10校の高校に贈り、使用者にモデルケースとなってもらうことで全体の着用率改善につなげる。



録 話

全国自動車大学校・整備専門学校協会 中川裕之会長

「効率化と生産性向上を求める流れの中で、人工知能（AI）が中心の社会になっている。この時代に整備学校では専門知識や技術の習得はAIが支援し、教員は学生の成長を支援するファシリテーターにならないといけない。AIの教育への活用を先導する開拓者としての役割が整備専門学校・大学校には求められている」

「職業選択の幅が狭まるとされるAI時代にあっても、国家資格を持つ自動車整備士のハンコがなければ自動運転車は走れない。整備士という人間がシステムの中心にいる。この資格を与えられる整備学校に誇りを持ち、将来を担う若者たちを育成していきたい」（整備士教育でのAI活用について）



昨年記録的な猛暑が鮮烈だっただけに、今年の冷夏はどこか寂しげな雰囲気。全国各地で災害級の雨に祟（たた）られ、夏休みを謳歌（おうか）したかった多くの人にとって、肩透かしを食らわされたことだろう。夏の気温が低ければ、冷房や飲料の需要が細る。間断なく雨が続けば、愛車の洗車にも踏み切れない。季節の恵みも、商いの追い風も、天候一つで向きを変える。景気とは、意外にも空模様似ている。そこに日米で利上げの風が吹こうとしている。◆物価を抑えるための金融政策は、家計を引き締め、企業の投資も慎重さを増す。住宅を買い、工場を建てる企業の判断を静かに揺らしている。中東情勢も依然として出口が見えず、エネルギー価格の高騰が輸送費や製造費を押し上げ、物価と景気の双方に重しとなる。◆トランプ大統領の発言や政策も、市場の予測を難しくしている。関税、外交の方針が変わるたび、企業は投資のアクセルから足を離す。先行きの不透明感は、景気指標に先んじて、人々の心に忍び寄る。◆冷夏も利上げも戦争も、単独なら一つの材料にすぎない。だが、重なり合えば、経済の風向きを変える。予測の難しい時代に必要なのは、樂觀でも悲観でもなく、変化を感じ取る冷静さである。季節は秋。澄み切った青空を心から味わえるだろうか。



る。寄贈に先立ち、好みの色や形沿った商品を把握し、普段使いしてもらえるよう配慮した。

ラリーには、釧路地区トラック協会や釧路自動車販売店協会、釧路地方自動車整備振興会などの自動車関連団体や市内の企業が参画している。

ハイヤー・タクシーでの忘れ物・お問い合わせは

☎ 0154-51-2173

釧路地区ハイヤー協会

〒084-0906 釧路市鳥取大通6丁目1番1号(自動車会館3階)

釧路ハイヤー協同組合発行
便利なタクシーチケット
お支払いはスムーズ!

お問い合わせは ☎ 0154-52-1331

釧路ハイヤー協同組合

〒084-0906 釧路市鳥取大通6丁目1番1号(自動車会館3階)

運転適性診断をご利用ください ～ 事故防止のために ～

自動車事故を防ぐには、まず運転に繋がるくせを知ることが大切です。そのために、ぜひ「適性診断」をご利用ください。
カウンセリングやアドバイスをを行うものも用意しております。

診断の種類等

- ◆ 一般診断（診断のみ） : 2,400円 …… 所要時間 約60分
 - ◆ カウンセリング付き一般診断 : 4,800円 …… 所要時間 約90分
- ★ 1日4回実施しており、予約制となっております。

《 詳しくは 》

独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスパ」で検索
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

令和8年度第2回整備管理者 選任前研修開催のお知らせ

日 程 表		各回とも申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます(各回定員50名)	
	開催日	受付時間	研修時間
第2回	令和8年11月(予定)	13時から13時半	13時半から16時半迄
	支局整備課にお問い合わせ下さい。TEL：0154-51-2523		
会場	釧路市生涯学習センターまなぼと幣舞(予定)		
	釧路市幣舞町4番28号		
第1回 (次年度)	令和9年5月(予定)	13時から13時半	13時半から16時半迄
会場	未定		
	未定		

◎ 研修対象者

整備の管理を行おうとする自動車と同種類の自動車の点検若しくは整備又は整備の管理に関し2年以上の実務経験を有する者

◎ 申込方法

- 研修の約1か月前から釧根自動車協会ホームページのトピックスに選任前研修のお知らせが載ります。そこから申込URLにアクセスし、ウェブ申込をして下さい。
- ウェブ申込が難しい方は、下記の連絡先までお問合せ下さい。

◎ 注意事項

・こちらからの申し込み完了のご連絡は致しておりませんのでご了承ください。

※申込先及びお問い合わせ※

一般社団法人 釧根自動車協会
〒084-0906 釧路市鳥取大通 6 丁目 1 番 1 号
TEL 0154-51-3254 FAX 0154-53-2026
担当者 北 川・久 田 まで

●当協会ホームページ ● <http://www.senjikyoo.jp>

●お 問 い 合 わ せ ● 9：00～16：50（土日祝祭日、当協会が定める祝日を除く）



トヨタガズーレーシングヤリスカップ 北海道シリーズ第3戦開催 釧路から観戦ツアーも

「トヨタガズーレーシングヤリスカップ2026北海道シリーズ第3戦」が十勝スピードウェイ（更別町）で開催された。24台が参戦し、釧路トヨタ（坂根篤社長）が支援する橋本優選手が優勝した。当日は「GR86／BRZカップ」など複数力テグリーが実施され、販売会社による観戦ツアーも設けられるなど、多くのギャラリーでにぎわった。

釧路トヨタとネットトヨタ北見（河合昭徳社長）が観戦ツアーを実施し、レースにタイヤを供給する日本グッドイヤー（東京都港区）の協力の下、モータースポーツの魅力を発信した。

釧路トヨタは昨年に続いて2回目のツアーとなった。釧路と帯広エリアの高校生・高等専門学校生11人が参加。厚岸町から参加した高校生は、プロドライバーの同乗試乗で普段感じることのない加減速と荷重を印象的な点として挙げた。

ネット北見は、顧客のほかに同社からヤリスカップに参戦する車両をデザインした学生らが参加した。グッドイヤーのアンバサダーを務めるプロドライバーの田ヶ原章蔵選手が案内を務め、レースの基礎知識や戦略の解説、競技を裁定するコントロールセンターの見学を行った。田ヶ原選手が運転するヤリスのレース仕

様車での同乗試走も行い、競技における車両の挙動を体感してもらった。河合社長は「まずは純粹に競技と自動車の楽しさを感じてもらいたい。その結果、顧客との接点強化にもつながれば幸い」と狙いを語った。

レース後には選手による報告会も行われ、優勝した橋本選手は「良いスタートでスムーズなレース運びができた。」と話した。同じく同社の支援を受けて参戦した冬季オリンピック金メダリストの清水宏保選手は7位と健闘し、「スタート直後にアクシデントに見舞われたため、冷静なレース運びを心がけた」と振り返り、「初めての観戦で楽しさを感じてもらえたのではないかと」とツアーによるレースへの興味喚起に期待を寄せた。

日本グッドイヤーはモータースポーツの普及を目的に2021年からツアープログラムの提供を開始。トヨタの販売店を通じて参加者を募り、これまで約6000人が参加してきた。ヤングファミリー層にも人気を博し、参加者の3分の1を子どもが占めるという。一層のモータースポーツファン拡大に向けて取り組みを続けていく。

とべ 庁調 警察 JAF

2026年チャイルドシート使用状況調査 着座の4割が不適切

日本自動車連盟（JAF、坂口正芳会長）は、警察庁と合同で実施した2026年の「チャイルドシート使用状況全国調査」の結果を公表した。道路交通法で義務付けられている6歳未満の子どもの使用率は、前回比1・6ポイント増の84・0％だった。過去最高を更新したもの、いまだ16・0％が使用していない実態も明らかになった。加えて、約4割が正しく着座できていないことも分かった。

JAFと警察庁は、5月9～31日に全国99カ所で行った。対象は自動車に乗車中の6歳未満の子ども1万2914人（車両台数1万202台）だった。

年齢層別の使用率は、1歳未満が94・8％と最も高く、次いで1～4歳が86・9％だった。5歳は65・7％と最も低く、前回から1・0ポイント下落した。

チャイルドシートを使用しない理由としては、1歳と1～4歳は保護者の抱っこが目立ち、5歳では車両のシートにそのまま着座したり、大人用のシートベルトを着用したりするケースがあった。乗車位置別の使用率は、助手席が31・4％、後部

座席が14・0％だった。

また、乳児用と幼児用のチャイルドシートの取り付け状況と、6歳未満の子どもの全体の着座状況を全国16カ所調べた。正しく取り付けられていたのは77・6％。誤用は22・4％で、そのうち約半数が腰ベルトの締め付け不足だった。座席ベルトの通し方の間違いや、シートに置いただけといったケースも見られたという。また、41・3％が正しく座れておらず、体を支えるハーネスの締め付け間違いや体格の不適合だった事例があった。

チャイルドシートは適切に使用しないと、けがなど重大な事故につながる可能性がある。子どもの安全を守るためには適正なチャイルドシートの使用が法令で求められており、6歳以上でも体格によっては大人用シートベルトが不適正な場合がある。

JAFではチャイルドシート、ジュニアシートの使用について、身長150センチメートルを目安としており、今後も啓発活動を行っていく計画だ。

釧路空港で 安全啓発活動

釧根レンタカー協会

釧根地区レンタカー協会（安宅英明会長）は、釧路警察署と共同で「第釧路空港交通安全啓発活動」を実施した。同協会の会員各社がレンタカー利用者に安全運転を呼びかけた。日本自動車連盟（JAF）釧路支部（坂根篤支部長）と三井住友海上火災保険も協力した。

啓発活動は、釧路空港から観光などでレンタカーを利用するユーザーに向けて実施した。同協会に加盟する各社それぞれが交通事故防止やシートベルト着用、法定速度順守を啓発するチラシとノベルティーなどを配布した。トヨタレンタリース釧路（安宅英明社長）は、あおり運転防止に加えて、ヒグマやタンチョウとの接触事故防止のためのチラシも用意して地域の生態系保全に配慮した。

安宅会長は「お客さまが無事故で北海道を楽しんでもらえるよう取り組んでいく」とあいさつした。

【安全運転は運転経歴証明書から】

- ◎ 交通事故・違反防止に対する職場の連帯感が生まれます
- ◎ 交通事故処理等に費やす無駄な労力、保険料の減少も期待できます
- ◎ 必須アイテムとして多くの企業が安全運転管理に利用しています
- ◎ 1年以上無事故無違反者にはSDカードが交付されます



SDカードは定型優遇店が全国にあり割引制度等の特典があります
詳しくはホームページをご覧ください
(<http://www.jsdc.or.jp>)

申請方法 代表者が委任を受けて一括申請することが出来ます。申請手数料1通800円です。
詳しくは、下記事務所にお問合せ下さい

自動車安全運転センター北海道釧路方面事務所

〒085-0018 釧路市黒金町10丁目5の1
北海道警察釧路方面本部1階 TEL0154-25-7171



JAFといつまでも。



選ばれて60年！JAF入会 **3**つのメリット

- メリット① 「車」ではなく「人」にかかるサービスだから適用範囲が広い！
- メリット② 出動件数約230万件（*）！
専任隊員による高水準なサービス
*2024年4月1日～2025年3月31日集計
- メリット③ 保険適用外のトラブルにも利用回数制限なしで対応。保険＋JAFでさらに安心！

詳しくは「JAF」で検索！

Q JAF

検索



一般社団法人

日本自動車連盟 釧路支部

〒084-0906 北海道釧路市鳥取大通8丁目2番11号 TEL.0154-51-2167